

5月24日 菊池南中学校 韓国・金堤市の生徒と交流

友好都市の韓国・金堤市の中学生26人が菊池南中に来校。給食を食べたり、生徒と親睦を深めたりしました。生徒は昨年にオンラインで交流。新型コロナウイルス感染症の感染者が減少したことで対面交流が実現しました。



最後はみんなで写真撮影。ダンスや英語のスピーチなどで親睦を深めました

5月22日 太田黒家(生味) 「番所の歴史」国登録有形文化財に認定

太田黒家住宅の主屋と蔵が国登録有形文化財に認定され、市役所で伝達式が行われました。太田黒家住宅は、江戸時代の番所(関所)取締役の屋敷で、現在の建物は江戸時代末期に建てられたと考えられています。



所有者の太田黒弾さん(千葉市)は「国登録有形文化財に認定されてうれしいです」と話しました

5月13日 菊池市体育協会スポーツ優秀者表彰 スポーツを通して菊池を元気に

令和4年度中に各種スポーツ大会で活躍した優秀選手や団体をたたえる市体育協会主催の表彰式が旭志公民館で開催されました。同協会は顕著な成績を残した選手や競技の発展普及に貢献のあった団体を毎年表彰しています。



バドミントンやボクシング、ソフトボールなどの選手10人と8団体が音光寺以章教育長から表彰状を受け取りました

5月10日 人権擁護委員退任感謝状伝達式 人権擁護委員を務めた2人に感謝状

人権擁護委員を3期9年務めた牧美代志さん(元村)と上野恵里子さん(平)が退任にあたり法務大臣から感謝状を贈呈されました。牧さんと上野さんは人権相談や福祉施設への訪問などの人権啓発活動に積極的に取り組んできました。



(前列②から)上野さんと牧さんは「有意義な活動ができた。もっと多くの人が人権啓発活動に関わってほしい」と思いを語りました

5月26日 菊池市区長協議会 令和5年度の役員が決定

今年度の事業計画・予算・役員などが市区長協議会総会で承認されました。会長は原田和幸菊池区長会会長、副会長は坂崎明義七城区長会会長、野口進也旭志区長会会長、上田陽一郎泗水区長会会長です。



(②から)坂崎副会長、原田会長、野口副会長、上田副会長。今年度の各区の区長は広報6月号に掲載しています

5月24日 西日本レディースカップ野球大会 市内の中学生が所属するチームが優勝

広島県廿日市で開催された「第12回西日本レディースカップ野球大会」で、泗水中学校3年の川上美桜さんがキャプテンを務める「熊本暴れん坊ガールズ」が優勝に輝きました。出場した3選手が市役所を訪れ、戦いぶりを報告しました。



(②から)西岡優雅さん(菊池南中2年)、川上さん、山口ことこのさん(菊池北中2年)

5月15日 泗水東小学校 校区に戻ったホタルの光

泗水東小では、学校近くの永区を流れる水路(通称:ホタル川)にホタルを呼び戻そうと、児童が育てた幼虫の放流や水質の調査を続けています。地元の話では、ホタルが増え始めたのは一昨年からで、今年は特に多かったそうです。



児童たちは見頃を迎えたホタルをうれしそうに観賞。水路の周りを多くのホタルが飛び交いました

5月14日 菊池みらいベース 築約100年の古民家を交流の拠点に

深川にある古民家が共同利用型オフィスとカフェ、サウナ、宿泊室などを備えた交流拠点「菊池みらいベース」として生まれ変わりました。市と包括連携協定を結んでいる(株)ヴィネットが運営し、新しいビジネス創出に向け取り組んでいきます。



オープニングイベントには地域住民や関係者が出席。村嶋亮一社長は「外から訪れる人材と地域との交流を進めていきたい」と意気込みを語りました

6月7日 碧巖寺(前川) 菊池一族の遺産を次の世代へ

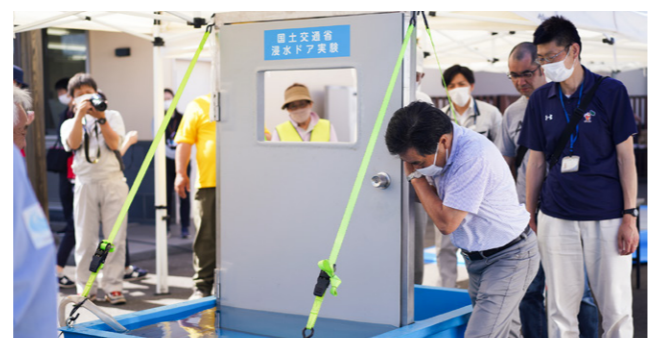
令和2年から始まった碧巖寺の復元工事が昨年の8月に完了しました。碧巖寺は、室町時代に菊池一族20代為邦が僧となり隠棲したとされており、県内で最も古い庭園の一つで、市の文化財(史跡)にも指定されています(関連15頁)。



施工を担当した(株)平安社建築の石淵公康代表取締役は「貴重な文化財に携わることができてうれしいです」と話しました

6月3日 菊池ボランティアのつどい ボランティアで絆深める

泗水公民館で「菊池ボランティアのつどい」が開催されました。市ボランティアセンターと市ボランティア連絡協議会が共同で開いたもので、約80人が参加。つながりを深め、地域を元気にしていこうと企画しました。



浸水時のドアの開け閉め体験をする参加者。他にも令和2年7月豪雨の被災者による講演や炊き出し訓練が行われました

5月17日 龍門地域活性化支援センター 韓国・清州市の住民が菊池市を訪問

友好都市の韓国・清州市の住民自治委員会約40人が本市を訪れ、地域行政の政策や自治会の活動などについて学びました。参加した人は「菊池のことを知ることができて良かった」と話しました。



龍門地域活性化支援センター(旧龍門小)で説明を受ける清州市の皆さん。その後、センター内のアーティストスタジオを見学しました

5月16日・30日 菊まつり推進委員会 若い世代へ菊の魅力伝える

菊まつり推進委員会の会員が菊池農業高校と菊池北中学校でキクの育成指導を行いました。育てたキクは11月に市ふるさと創生市民広場で開催される「菊人形・菊まつり」で展示する予定です。



生徒に差し芽の作業を教える推進委員会のメンバー。緒方正俊会長は「若い世代にもキクに愛着を持ってほしい」と話しました